

# Cisco Crosswork Data Gateway 3.0 リリース ノート

初版：2021年11月12日

最終更新：2022年12月15日

このドキュメントでは、機能、互換性情報、既知の問題と制限事項など、Cisco Crosswork データゲートウェイ（Cisco Crosswork Data Gateway） 3.0 に関する情報を提供します。

## 変更履歴

次の表に、このドキュメントの最初のリリース以降の変更点を示します。

表 1: マニュアルの変更履歴

日付	変更内容
2022年12月15日	スケール情報を詳述する「 <a href="#">スケールのサポート（6ページ）</a> 」セクションを導入しました。
2021-12-21	シスコ製品に影響を与える Apache Log4j ライブラリの脆弱性に関する詳細を含む「 <a href="#">特記事項（8ページ）</a> 」セクションを追加しました：2021年12月。
2021-11-12	初回リリース

## 製品の概要

Cisco Crosswork データゲートウェイ（Cisco Crosswork Data Gateway）は、モデル駆動型のスケーラブルなデータ収集プラットフォームであり、マルチプロトコル対応デバイスからのリアルタイムのデータ収集を可能にするため、ネットワークからのデータを必要とする複数のアプリケーションの複数の収集ポイントの必要性が軽減されます。

Cisco Crosswork Data Gateway は、データを収集するサービスと収集されるデータのタイプを一元的に可視化します。Crosswork アプリケーションに加えて、外部データの宛先（外部の Kafka や gRPC サーバーなど）にフィードするためにも使用できます。

Cisco Crosswork Data Gateway はスタンドアロン製品ではなく、Crosswork Cloud アプリケーションで使用することが想定されています。Cisco Crosswork Data Gateway に必要な個別のソフトウェアライセンスはありません。

## リリースの詳細

シスコは、更新されたビルドを[シスコのサポートおよびソフトウェアダウンロードページ](#)でリリースしています。

表 2: *Crosswork Data Gateway* リリース日

バージョン	ファイル名 (File name)	日付 (Date)
3.0	cw-na-dg-3.0.0-36-release-20211105.ova	2021 年 11 月 12 日
3.0	cw-na-dg-3.0.0-36-release-20211105.tar.gz	2021 年 11 月 12 日

Cisco Crosswork Data Gateway は、Cisco Cloud Services Platform (CSP) または VMware を使用してデータセンターにインストールできます。導入に使用されるファイルは、これらの各環境固有のものであります。使用：

- \*.ova ファイル：VMware に Crosswork Data Gateway をインストールします。
- \*.qcow2 ファイル：Crosswork Data Gateway を Cisco Cloud Services Platform (CSP) に導入します。

## Crosswork Data Gateway 3.0 の互換性情報

Cisco Crosswork Data Gateway 3.0 は、Crosswork オンプレミス アプリケーションのみをサポートします。

Cisco Crosswork Data Gateway リリース 3.0 は、次のものとともに検証されています。

- Cisco Crosswork ネットワークコントローラ 3.0
- オンプレミス **Crosswork** アプリケーション
  - Cisco Crosswork Change Automation 4.1
  - Cisco Crosswork Health Insights 4.1
  - Cisco Crosswork Optimization Engine 3.0
  - Cisco Crosswork Active Topology 3.0
  - Cisco Crosswork Zero Touch Provisioning 3.0
  - Cisco Crosswork Service Health 3.0 (pre-launch)

Crosswork Data Gateway には、2つのオンプレミス展開オプションが用意されています。

- 標準：Cisco Crosswork Health Insights と Cisco Crosswork Service Health を除く、オンプレミスの Crosswork アプリケーションで使用します。
- 拡張：Crosswork Data Gateway を Cisco Crosswork Health Insights および Cisco Crosswork Service Health（またはいずれか一方）と共に使用する場合に必要です。

次の最小要件を満たすホストに VM として Cisco Crosswork Data Gateway を導入できます。

表 3: オンプレミス展開の Cisco 3.0 VM 要件 Crosswork Data Gateway

要件	説明
データセンター	<p>VMware</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• VMware vCenter Server 7.0、ESXi 7.0 以降 をホストにインストール済みであること。</li> <li>• VMware vCenter Server 6.7（Update 3g 以降）、ESXi 6.7 Update 1 をホストにインストール済みであること</li> </ul> <p>（注） VMware vCenter Server 6.5 のサポートは廃止され、次のリリースで削除されます。</p> <p>Cisco CSP</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco CSP 2.8.0.276 以降</li> </ul> <p>許可されたハードウェア：CSP-2100、CSP-2100-UCSD、CSP-2100-X1、CSP-2100-X2、CSP-5200、CSP-5216、CSP-5228、CSP-5400、CSP-5436、CSP-5444、CSP-5456</p>
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準：32 GB</li> <li>• 拡張：96 GB</li> </ul>
ディスク容量	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準：55 GB（最小）</li> <li>• 拡張：554 GB（最小）</li> </ul>
vCPU	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準：8</li> <li>• 拡張：16</li> </ul>

要件	説明			
インターフェイス	最小値：1 最大値：3  Cisco Crosswork Data Gateway は、次の組み合わせに応じて、1つ、2つ、または3つのインターフェイスのいずれかで展開できます。			
	NIC の数	vNIC0	vNIC1	vNIC2
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 管理トラフィック</li> <li>• 制御/データトラフィック</li> <li>• デバイスアクセストラフィック</li> </ul>	—	—
	2*	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 管理トラフィック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 制御/データトラフィック</li> <li>• デバイスアクセストラフィック</li> </ul>	—
3*	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 管理トラフィック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 制御/データトラフィック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デバイスアクセストラフィック</li> </ul>	

要件	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 管理トラフィック：UI とコマンドラインにアクセスし、サーバー間（たとえば、Crosswork Data Gateway と Crosswork アプリケーション間）で設定情報を渡すため。</li> <li>• 制御/データトラフィック：Cisco Crosswork Data Gateway と Crosswork アプリケーション、および他の外部データ接続先間でデータと設定を転送します。</li> <li>• デバイスアクセス トラフィック：デバイス管理（KPI 設定またはブレイブック実行の結果としての NSO または Crosswork アプリケーションとデバイス間）および Cisco Crosswork Data Gateway に転送されるテレメトリデータの場合。</li> </ul> <p>(*): 実際の導入の場合、3 つの NIC を使用する導入をお勧めします。これは、すべての管理トラフィック（DNS から VM、NTP、およびアプリケーションへのアクセスと管理に使用するネットワーク間）用の 1 つのインターフェイス、データネットワーク用の 2 番目のインターフェイス（Cisco Crosswork と Cisco Crosswork Data Gateway VM 間の接続）と、ネットワーク内のデバイスと通信するための 3 番目のインターフェイスを使用している導入です。</p>
IP アドレス	<p>使用するインターフェイスの数に基づいて、1 つ、2 つ、または 3 つの IPv4/IPv6 アドレス。</p> <p>(注) Cisco Crosswork はデュアルスタック構成をサポートしていません。したがって、環境のアドレスはすべて IPv4 または IPv6 のいずれかである必要があります。</p>
NTP サーバ	<p>使用する NTP サーバの IPv4/IPv6 アドレスまたはホスト名。複数の NTP サーバを入力する場合は、それぞれをスペースで区切ります。これらは、ネットワーク全体でデバイス、クライアント、およびサーバを同期するために使用する NTP サーバと同じでなければなりません。NTP IP アドレスまたはホスト名がネットワーク上で到達可能であることを確認します。到達可能でない場合、インストールは失敗します。</p> <p>Cisco Crosswork Data Gateway ホストと仮想マシンを NTP サーバに同期する必要があります。そうしないと、最初のハンドシェイクが「証明書が無効です」というエラーで失敗する場合があります。</p>
DNS サーバ	<p>使用する DNS サーバの IPv4/IPv6 アドレス。これらは、ネットワーク全体でホスト名を解決するために使用する DNS サーバと同じである必要があります。</p>
DNS 検索ドメイン	<p>DNS サーバで使用する検索ドメイン（たとえば、cisco.com）。検索ドメインは 1 つのみ設定できます。</p>

#### テスト済みのシスコ OS

次の表に、Cisco Crosswork Data Gateway 3.0 がテストされたソフトウェアバージョンの一覧を示します。Cisco Crosswork Data Gateway を使用すると、カスタムパッケージを使用してデバイスカバレッジを拡張できます（『Cisco Crosswork Infrastructure 4.1 and Applications Administration Guide』のセクション「Manage Custom Device Packages」を参照）。

OS	ソフトウェアバージョン	収集プロトコル	MDT エンコーディング
IOS-XR*	6.5.3, 6.6.2, 6.6.3, 7.0.1, 7.1.2, 7.2.1, 7.3.1, 7.3.2, 7.4.1	gNMI MDT SNMP Syslog  (注) Secure Syslog は、バージョン 7.4.1 および 7.3.2 ではサポートされていません。  CLI NETCONF	gNMI プロト KVGPB/TCP
IOS-XE	16.12.3, 17.2.1, 17.3.1, 17.4.1, 17.5.1	gNMI SNMP CLI Syslog NETCONF	NA
NX-OS	9.2.1, 9.3.1, 10.x	SNMP CLI Syslog	NA

\* IOS-XR の NSO を介した MDT 設定の場合は、NSO XR NED 7.33 または 7.33.1 を使用します。

Crosswork Data Gateway は、SNMP または gNMI コレクタを使用して、互換性のあるサードパーティデバイスからデータを収集できます。シスコ以外での収集の展開と検証については、[Cisco Devnet](#) を参照するか、シスコプロフェッショナルサービスにお問い合わせください。

## スケールのサポート

Crosswork Data Gateway (Standard 展開プロファイル) は、Crosswork Optimization Engine および Crosswork Active Topology を実行する Crosswork Network Controller と統合された最大 2000 台のデバイスでテストされています。必要な Crosswork Data Gateway VM の数は、収集ジョブの数

とタイプ、データの転送先の数、その他の変数などの要因の組み合わせによって異なります。構成に追加の Crosswork Data Gateway VM が必要かどうかを判断するには、「[Monitor Crosswork Data Gateway Health](#)」を参照してください。また、Crosswork Data Gateway VM をプールに追加する方法については、「[Attach Devices to a Crosswork Data Gateway](#)」を参照してください。

## Crosswork Data Gateway 3.0 における新機能および拡張機能

このセクションでは、Crosswork Data Gateway 3.0 で提供される機能を一覧表示します。

機能	説明
Cisco Crosswork UI で Crosswork Data Gateway プロファイル情報を表示する	Crosswork Data Gateway プロファイルタイプ（標準または拡張）は、Cisco Crosswork UI の <b>Data Gateway 管理</b> ページに表示されます。
SNMP トラップおよび Syslog 収集用のカスタムポートを追加する	Cisco Crosswork Data Gateway では、デフォルトポートを変更し、Syslog および SNMP トラップコレクタのカスタムポートを追加できます。
New Crosswork Data Gateway の動作状態が [準備中 (Not Ready)]	Crosswork Data Gateway のサウスバウンド IP アドレスがまだ設定されていないため、Crosswork Data Gateway が収集ジョブを受信する準備ができていないことを示す、新しい動作状態 [準備中 (Not Ready)] を導入しました。
Crosswork Data Gateway の宛先への接続を確認するための追加の Crosswork Data Gateway オプション	Cisco Crosswork UI からの Crosswork Data Gateway コンポーネントの ping、traceroute、およびログレベルの変更のオプション。
コレクタ指標をダウンロードする	Cisco Crosswork UI またはインタラクティブコンソールから Crosswork Data Gateway VM のすべての収集ジョブのメトリックをダウンロードするオプション。
Cisco Crosswork UI から Crosswork Data Gateway サービスを再起動します。	Cisco Crosswork UI から、Crosswork Data Gateway VM で実行されている個々のサービスを再起動するオプション。
NETCONF コレクタ	次のタイプの収集をサポートする NETCONF ベースのデータ収集が導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• デバイスパッケージを使用した SSH 経由の NETCONF。</li> <li>• デバイスパッケージを使用したネイティブ NETCONF。</li> <li>• NETCONF イベントベースの収集。</li> </ul>

機能	説明
SNMP コレクタの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SNMPv3 の高度な暗号化のサポート。</li> <li>• API を介して単一の <b>getbulkrequest</b> に複数の SNMP get リクエストをパックする機能。</li> </ul> <p>収集ジョブが複数のスカラー OID をリクエストすると、Crosswork Data Gateway はデバイスへの 1 回のリクエストでそれらすべてをクエリします。</p>
gNMI コレクタの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ON_CHANGE</b> サブスクリプションモードをサポートします。<b>ON_CHANGE</b> モードは、指定されたパスの特定の要素の変更に関するデータのみを報告します。</li> <li>• デバイスに送信される単一のサブスクリプションリストで複数のサブスクリプションモードにサブスクライブする機能。</li> </ul>
カスタム gRPC リクエストのサポート	センサーパスを GRPCSensor として指定することによる gNMI サブスクリプションの追加サポート。
Filters ベースの SyslogSensor で syslog イベントをフィルタリング処理する	RegEx、PRI、または重大度ファシリティに基づくフィルターベースの SyslogSensor で syslog イベントをフィルタ処理するオプション。複数のフィルタ（最大 3 つのフィルタ）を「AND」または「OR」で組み合わせることができます。
強化された監視とトラブルシューティングオプション	インタラクティブ コンソールの [診断 (Diagnostics)] メニューを使用して、Crosswork Data Gateway VM の状態と正常性を表示する機能。

## 特記事項

Crosswork Data Gateway 3.0.0 の Log4j パッチは、Crosswork Infrastructure Log4j パッチバージョン 4.1.1 の一部です。

Crosswork Infrastructure パッチは、アクティブ化後に Crosswork Data Gateway の関連する修正を自動的に提供します。詳細については、「[Apache Log4j の脆弱性に対する Cisco Crosswork パッチ](#)」を参照してください。

## Cisco Crosswork Data Gateway 3.0 ドキュメント

次の表に、Cisco Crosswork Data Gateway 3.0 用に提供されるガイドの一覧を示します。



マニュアル タイトル	内容
Cisco Crosswork Data Gateway 3.0 リリースノート	このマニュアル 製品の概要、互換性情報、および製品を使用する前に考慮する必要がある重要な情報を提供します。
Cisco Crosswork インフラストラクチャ 4.1 およびアプリケーションのインストールガイド	すべての Cisco Crosswork アプリケーションとそれらの共通インフラストラクチャの共有インストールガイド。内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>• システム要件</li> <li>• インストール前提条件</li> <li>• インストール手順</li> <li>• アップグレード手順</li> <li>• のアンインストール</li> </ul>
Cisco Crosswork インフラストラクチャ 4.1 およびアプリケーション管理ガイド	すべての Cisco Crosswork アプリケーションとそれらの共通インフラストラクチャの共有管理ガイド。内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Crosswork Data Gateway の概要</li> <li>• Cisco Crosswork Data Gateway VM の管理</li> <li>• Cisco Crosswork Data Gateway プールの管理</li> <li>• 外部データ送信先の管理</li> <li>• カスタムパッケージの管理</li> <li>• 収集ジョブ</li> <li>• Cisco Crosswork Data Gateway Base VM の設定</li> <li>• Cisco Crosswork Data Gateway の正常性のモニタリング</li> <li>• トラブルシューティング</li> </ul>
Open Source used in Cisco Crosswork Data Gateway 3.0	使用されるオープンソースソフトウェアのライセンスと注意事項の一覧

## その他の関連ドキュメント

このセクションでは、Cisco Crosswork Data Gateway 3.0 の追加の関連ドキュメントへのリンクを提供します。

- [Cisco Crosswork Infrastructure 4.1 リリースノート](#)
- [Cisco Crosswork ネットワークコントローラ 3.0](#)
- [Cisco Crosswork Change Automation 4.1](#)
- [Cisco Crosswork Health Insights 4.1](#)
- [Cisco Crosswork Optimization Engine 3.0](#)

すべての Cisco Crosswork 製品のドキュメントには、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/crosswork-network-automation/tsd-products-support-series-home.html> でアクセスできます。

## Cisco Crosswork API のマニュアル

上級ユーザーは、製品 API を使用して Cisco Crosswork 製品の機能を強化できます。製品 API の詳細については、Cisco DevNet の『[Cisco Crosswork Network Automation API Documentation](#)』を参照してください。

# Crosswork Data Gateway 3.0 の未解決のバグ

Cisco Crosswork Data Gateway 3.0 の未解決のバグのリストについては、この未解決のバグのリストを確認してください。リスト内の各バグ ID は、詳細な説明と回避策にリンクされています。

Cisco バグ検索ツールを使用して、特定のバグを検索できます。

1. [Ciscoバグ検索ツール (Cisco Bug Search Tool)] <https://tools.cisco.com/bugsearch> にアクセスします。
2. 登録している Cisco.com のユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン (Log In)] をクリックします。

[バグ検索 (Bug Search)] ページが開きます。




---

(注) Cisco.com のユーザー名とパスワードをお持ちでない場合は、[ここで登録](#)できます。

---

3. 特定のバグを検索するには、[検索対象 (Search For)] フィールドにバグ ID を入力します。

## オープンソース

Cisco Crosswork で使用されるオープンソースソフトウェアのリストは、[Crosswork Data Gateway 3.0](#) で使用されるオープンソースソフトウェアから確認できます。

## アクセシビリティ機能

すべての製品マニュアルは、イメージ、グラフィック、および一部のチャートを除き、閲覧可能です。音声、点字、または大きな文字の製品マニュアルが必要な場合は、[accessibility@cisco.com](mailto:accessibility@cisco.com) にお問い合わせください。

## マニュアルを入手してサービス リクエストを送信する

マニュアルの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービスリクエストの送信、追加情報の収集の詳細については、『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』を参照してください。

新しく作成された、または改訂されたシスコのテクニカルコンテンツをお手元で直接受け取るには、『[Cisco Notification Tool](#)』をご購読ください。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。